

昭和43年度

東京都日野市

一般会計予算説明資料

日野市立図書館

☎81-7354



13 70 147

次に記した日までに返して下さい。

Blank box for return address.

お問合せ・ご連絡は

ひまわり号・事務局	電話	81 - 7354
多摩平児童図書館	電話	81 - 4744
高幡図書館	電話呼	91 - 0493
福祉センター図書館	電話呼	82 - 2329
社会教育センター図書館	電話呼	82 - 3136
平山児童図書館	電話呼	91 - 3773

内図M-31-8 (80×120) 上45

市内印刷

昭和43年度予算について

1 基本的な考え方

昭和43年度の日野市の予算編成に当つては、次の2つの方針を基本的な考え方とした。
 その第1は健全財政を建て前とする。すなわち自己財源を主体として事業計画を立案する
 " 入るを計り、出づるを制する。" という経済原則を柱にして、事業を先ず考えてその資金調
 達を策すると、当初予算は、水増予算、単なる努力目標となる。その目標達成のため、政治
 的仕事が事務的消耗に追われて、肝心の市民サービスがおろそかになるため、ここに健全財
 政の建て前をとると、そのような不合理な煩瑣から解放されて専ら市民サービスに専念でき
 る。

その第2は基本的総合計画(マスタープラン)に基く短期実施計画(昭和43年度予算編成一
 実施とその統一性を保ち、累年の積上げを計画的に考える。そして本年度は、その第一年度
 であるので都市的施設の充実、物的環境の整備に重点おくこと。

2 全体的重点事業

昭和43年度の重要施策は次のとおりである。

- (1) マスタープラン策定
- (2) 道路整備事業の完備
- (3) 区画整理事業の推進
- (4) 教育施設整備の充実
 第8小新設、第5小増設、第6小増設、第2小防音、七生中防音、潤徳小屋体新設、第
 1小屋体改築
- (5) 衛生施設の増設
 し尿処理場建設、じん芥焼却場建設
- (6) 上水道拡充
- (7) 町名地番の整理事業
- (8) 市内工場の集約化
- (9) 勤労者対策の樹立
- (10) 集会施設の建設
 社会教育センター
 小地区センター
- (11) 市立総合病院の充実
- (12) 市立図書館活動の拡充
- (13) 市制5周年記念事業

3 昭和43年度予算編成細目 その1 (既定経費)

(1) 全般的事項

- (イ) 国都の予算編成方針及び地方財政計画はまだ明確でないので財政収支の的確な見とおしを得ることは困難であるが、さしあたり歳入歳出とも原則として、現行制度を前提として年間を通ずる歳入歳出の見通しのうえにたつて予算を編成すること。
- (ロ) 昭和43年度の市財政は、さきの議会において議決されたとおり、来年度負担すべき

K 10135

日野市一般会計予算
説明資料昭和43年

K 10135

日野市一般会計予算
説明資料昭和43年

K 10135

日野市立図書館

債務額1億円の義務づけと人件費や物件費の増経費と生活環境施設の整備など市民の要求は質的にかなり向上していることなどから、これまでになく市財政は財源難になる恐れがあるため、極力財源確保に努めなければならない。

従つて、予算要求にあつては常に住民福祉の増進を念頭におくことは勿論であるが、積算の基礎も効率的にし、必要性の高いもので、しかも計数において正確であるように努めて欲しい。そのためには過去における決算の分析。昭和41年、42年度の予算の執行過程における反響等の検討に努めて欲しい。その上不急事務事業の一時保留、効果の薄いものについては、極力廃止するよう努力をすること。

(イ) 編成要領については、前年度同様既定経費及び新規経費とに分けて編成する。

重点施策については、別途依命通達されるところであるがとりあえず既定経費のみ編成すること。尚、既定経費とは、次に該当する事務事業費である。

- イ 現に運営している事務事業の維持管理費
- ロ 人口増加に基づく対象増に伴う必然的增加経費
- ハ 施設の完成に伴う事業開始に要する経費
- ニ その他上記に準ずる必要最小限度の行政運営費

(2) 歳入に関する事項

(イ) 税収入は歳入の根幹であり、予算編成の基礎となるものである。それ故、課税対象の完全なる把握に努めて調定収入見込を的確に算出すること。

(ロ) 使用料、手数料については、過去の実績を検討し、対象件数を的確に把握し増収を図ること。

(ハ) その他の収入についても見積りは過大であつても過少であつても財政の計画的運営を危うくするものであるから、精査のうえ適確な財源捕捉に努めること。

(3) 歳出に関する事項

(イ) 人件費

- 給与費については人事課が扱う(三役・一般職)
- 臨時職員賃金等については人事課長との協議を経たうえで計上すること。また原則として臨時職員賃金等基準表による。
- 報酬については、現行条例の定めるところにより、関係規定で定める人員を基礎として算出する。

(ロ) 物件費

人件費とあわせ、物件費も年々増加し財政運営の弾力性を減じていることは注意すべき傾向にある。そのために物件費は極力経費の効率化を図つてその規模の増大をきたさないよう努め真に必要な経費のみ計上すること。

なお、消耗品、原材料費、備品購入費については別冊単価表により算出すること。

○ 旅費

普通旅費は前年度実績勘案による。

研修に要する旅費は企画室において一括計上するが市以外の組合、団体等が主催する管外視察の随行に要する市費負担は中止する。

○ 食糧費

42年度予算以内とする。

なお、これが執行については種々問題があるので別途財務課長、出納課長と協議の上通知する。

○ 印刷製本費

浄書印刷委託制度に伴い昭和43年度予算計上方法が大巾に変わるが、一応各課においての印刷製本費を掌握するため従来通り予算見積りをすること。

○ 郵便料、電話料、光熱水費等の義務経費も年々増大して看過できない額となつている。

そのため公私区分、無駄の排除には一層努力することにより、その圧縮を計つた予算見積りをすること。

○ 維持補修費

施設の増加と規模の拡大によつて維持、補修費が増大することはやむを得ず、施設の効用を維持する必要上十分な予算は確保したいと考えているが、管理運営には特段の研究を重ねた上で経費を見積ること。

(ハ) その他の経費

○ 負担金、補助金については対象団体、対象事業の内容説明事業計画および収支計画書等の関係資料を提出すること。

○ 債務負担行為負担額、およびこれに準ずる経費で昭和43年度歳出予算として措置すべきものは、その旨明示して脱漏のないよう計上すること。

○ 継続費についても同様とする。

(4) 特別会計

一般会計の編成要領に準じ編成することとし、年間経費と関係歳入を見積り計上すること。

事務事業の再検討を通じて合理化をはかり、あまり一般会計に依存しない事。

4 昭和43年度予算編成細目その2(新規経費)

(1) 全般的事項

昭和43年度予算は、マスタープランに基づく初年度の予算化に則り健全財政の保持を基本とし、経費の効率化・性質別経費における投資的経費優先主義とし、又目的別経費における重点主義を堅持するものと定め、市が当面する課題の解決をめざし、次の7項目を重点事業としてとりあげ、これを中心に編成するものとする。

- (1) 都市計画事業を中心とする都市的施設整備の推進
- (2) 小中学校施設整備の推進と教育内容の充実
- (3) 福祉行政の拡充
- (4) 清掃事業の円滑化と施設の増設
- (5) 地区センターの設置
- (6) 市政5周年記念行事に係る事業
- (7) 町名地番整理事業の推進

尚、新規経費の財源として充てられるべき国庫・都支出金・その他の特定財源については、国・都から特に指示のないものについては、昭和42年度における交付条件に基づいて計上するものとする。

市債については、現行の起債許可方針に従って、起債対象事業範囲および計上額を算出するものとする。

5 昭和43年度予算の概要

昭和43年度予算は当初3ヶ月の暫定予算として調製したがその後市長の病状回復をまつて、こゝに本予算として調製したものである。

その編成された一般会計及び特別会計の予算の規模は次のとおりである。

尚、先に本予算として調製した特別会計予算も下表に加えた。

図表 1

区 分		43年度予算額①	42年度予算額②	① - ②
A' 一般会計		1,970,789千円	1,690,012千円	280,777千円
B' 特別会計		1,241,470	584,967	656,503
今回の提出の	国民健康保険会計	1,456,228	1,152,250	303,978
	都市計画会計	465,000	96,485	368,515
	下水道会計	13,824	15,699	△ 1,875
三月に提出の議会の	市立病院会計	192,456	197,454	△ 4,998
	上水道会計	418,768	153,819	264,949
	農業共済会計	5,794	6,260	466
A' + B'		3,212,259	2,274,979	937,280

本年度総予算は図表1のごとくその規模が前年より4.1%の増加で32億円の大型予算である。とくに都市計画会計、水道事業会計が急激に上昇している。

次に一般会計について

歳入の概要

昭和43年度の歳入総額は19億7千78万9千円であり、前年度に比し、2億7千77万7千円と17%の増加である。

これを歳入の構成比からみると(図表2)市税は前年度に比し0.6%(62.2%→62.8%)とわずかに上昇しているものゝ本年度は国の減税政策と共に地方税制改正等によることゝ、自動車取得税交付金及び交通安全対策交付金等の創設により相対的に低下したためと考えられる。とくに市民税については、本年度の税制改正により市民税の基礎控除の引上げ

(10万円→11万円)給与所得控除の引上げ(4万円→8万円)最高限度額(18万円→22万円)等各種控除の引上げによる減税により、4千万円前後の減が予想されたが自然増等により前年度より、やゝ上回った収入見込をたてている。

- 自動車取得税交付金については、市町村道の整備の促進をはかるため本年度より新たに創設されたものである。
- 地方交付税については、本年度も基準財政収入額が9億9千万円と推計され、一方基準財政需要額が6億8千万円と推計されると、差額3億1千万円相当の財政構造に弾力性があるため本年度も不交付団体と思われる。従って本年度の予算化は特別交付税のみ計上したわけである。
- 交通安全対策特別交付金については、交通安全対策事業を促進するため、その財源に充てるため交通安全対策特別交付金が本年度より交付されるので計上した。
- 国庫支出金は(9.4%→11.2%)と1.8%の増加を示し、都支出金においても(2.5%→4.6%)と2.1%の増加を示している。
また、市債においても財政の健全化をはかる趣旨からその構成比は(9.3%→6.1%)と3.2%の減になっているが昨年の学校用地購入の市債があつた事も要因になっている。
- 諸収入については、前年度の構成比をみると2.3%と減になつたが、これは前年において専業施行した住宅公団の進入道路受託工事収入分があつたため、実質には0.3%の増加を示している。
- 繰越金について本予算を調製する時期が出納閉鎖中であるため大巾に計上した。6千万円は3月末日の一般会計予算額の3.2%に相当する。

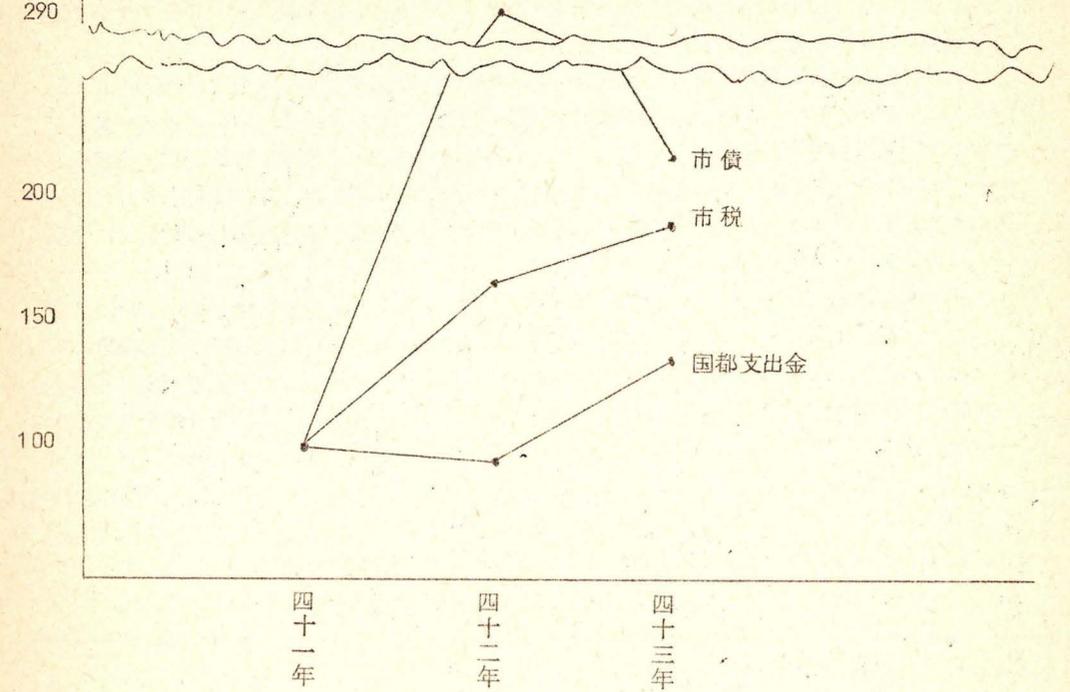
歳入予算額前年度比較

図表 2

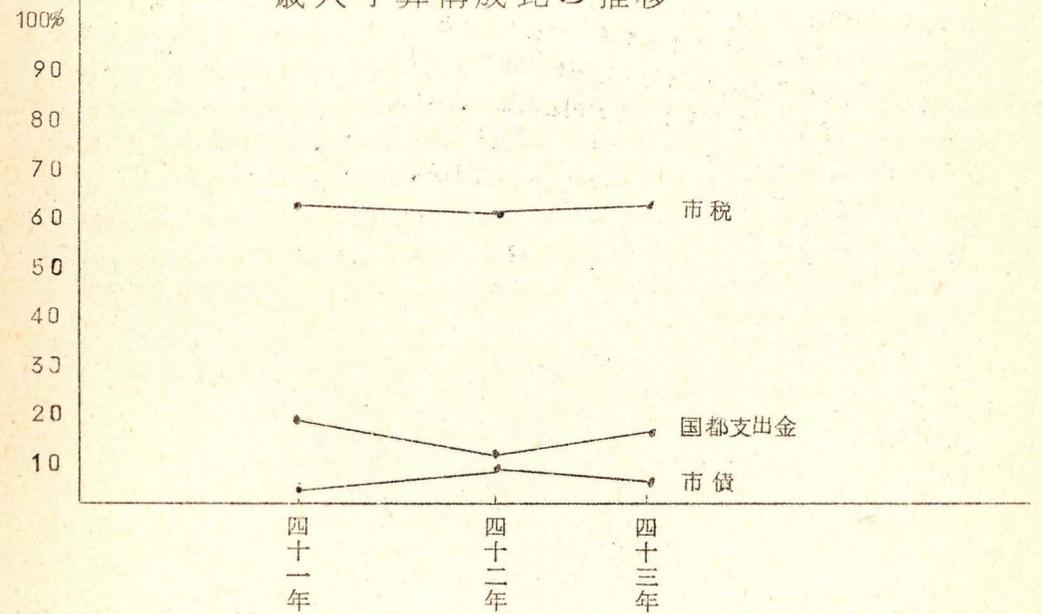
款	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	比較 (A)-(B)	(A) ÷×100 (B)	本年度予 算の各款 の比	前年度予 算の各款 の比
1市 税	1,239,482	1,050,920	188,562	118	62.8	62.2
2自動車取得税 交付金	10,000	0	10,000	0	0.5	0
3地方交付税	1,000	1,000	0	100	0	0
4交通安全対策 交付金	4,500	0	4,500	0	0.2	0
5分担金及び 負担金	30,748	16,482	14,266	186	2.0	1.0
6使用料及び 手数料	50,637	49,939	698	101	2.5	3.0
7国庫支出金	220,944	158,085	62,859	140	11.2	9.4
8都支出金	91,697	41,269	50,428	222	4.7	2.5
9財産収入	2,815	2,529	286	111	0.1	0.1
10寄付金	1	1	0	100	0	0
11繰越金	60,000	40,000	20,000	150	3.0	2.4
12諸収入	136,965	157,786	△20,821	87	6.9	9.3
13市 債	122,000	158,000	△36,000	77	6.1	9.3
○臨時地方財政 交付金	0	14,000	△14,000	0	0	0.8
○繰入金	0	1	△1	0	0	0
才入合計	1,970,789	1,690,012	280,777	117	100.0	100.0

歳入予算額の推移

図表 3
指数
290



図表 4
歳入予算構成比の推移



歳出の概要

昭和43年度の歳出の総額は19億7千78万9千円であり、前年度に比し2億7千77万7千円と17%の増加である。

これを目的別の構成比からみると(図表5)本年度トップに構成された教育費は前年度に比し(31.5%→32.2%)と0.7%の増加を示している。これは日野市において過去一貫して教育の充実を最優先した事を示している。この増加要因は第8小(仮称)の新設校、潤徳小の屋体、一小の屋体、第5小、第6小の増築分(債務負担分)小学6年、中学2年、3年生の机等の入れ替図書活動の充実、幼児プールの設置、多摩平バレーコート[△]の設置等に積極的に予算化を図った事にある。

つぎに総務費は、前年度に比し(17.0%→15.5%)と1.5%の減になっているが、民生費、衛生費ともに相対的に上つているため低下したと思われる。内容的にみれば重点施策にあげる町名地番整理事業は市民生活の利便を図るべく予算化し、交通安全対策事業の充実(通学路標識等)市制5周年記念事業、庁舎建設積立金等に予算化を図ったが構成比そのものは低下を示しているが、予算額は前年度より2千2百万円の増加を示している。

つぎに、衛生費は前年度に比し(14.4%→15.0%)と0.6%の増加を示している。これは前年度からの継続事業である、し尿処理施設の予算化により本年度に完成をめざすがその結果し尿処理施設の現有能力は141Kℓで10万余人の衛生処理が可能になる。又、本年度より新たに着手するゴミ処理は2ヶ年事業で推進すべく43年度予定分の予算化を図った。

又、かねて懸案であつた火葬場の整備計画も重点的に財源配分をした。又他に病院事業への補助分が多額に繰出されていることである。

つぎに土木費は前年度に比し(16.1%→15.3%)と0.8%の減になっているが、前年度において住宅公園進入路建設費が6千7百万余と高額の予算があつたため事実上は3.2%の増加を示している。予算額にして9千9百万円と増加し、これは重点的予算配分を示している。

内容的にみると全市の道路舗装をめざすため1億円の事業予算、都市計画事業へ9千万円の投資的予算、道路パトロール強化のため道路補修車の購入、豊田、堀之内排水管理設工事等、本年度重点事業施策として財源配分を行うべく予算化を図った。つぎに民生費は前年度に比し(8.8%→11.0%)と2.2%と増加し、この構成は本年度のトップにあたり民生費重点施策を示すものである。予算額にしても教育費について6千7百万円と最高の増加を示している。内容的にみると生活扶助費が前年度に比し2千5百万円の増でこれは本年度より身障者の自立性を高揚するための足がかりとして、身障手当を支給すべく予算化を図ったためである。

又、小地区センターを2ヶ所設置するが、年度途中においてあと1ヶ所設置するため予備費に財源を繰込んでいる事である。

図表 5 歳出予算額前年度比較

款	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	比較 (A)-(B)	(A) -×100 (B)	本年度予 算の各款 の比	前年度予 算の各款 の比
1 議 会 費	35,706	34,742	964	103	1.8	2.1
2 総 務 費	305,679	287,882	17,797	106	15.5	17.0
3 民 生 費	216,028	148,761	67,267	140	11.0	8.8
4 畜 生 費	290,079	243,330	46,749	119	15.0	14.4
5 労 働 費	5,105	6,049	△ 944	84	0.2	0.4
6 農 業 費	28,714	28,158	556	102	1.4	1.7
7 商 工 費	20,375	24,360	△ 3,985	84	1.1	1.4
8 土 木 費	302,757	272,784	29,973	111	15.3	16.1
9 消 防 費	51,472	50,713	759	101	2.6	3.0
10 教 育 費	635,385	533,052	102,333	119	32.2	31.5
11 災 害 復 旧 費	1	1	0	100	0	0
12 公 債 費	64,268	46,524	17,744	138	3.2	2.7
13 予 備 費	15,220	13,655	1,565	111	0.7	0.9
○ 諸 支 出 金	0	1	△ 1	0	0	0
才 出 合 計	1,970,789	1,690,012	280,777	117	100.0	100.0

つぎに性質別歳出の構成状況は「図表6」のとおりで、人件費扶助費および公債費の義務的経費が歳出総額の約4割(35.3%)を占めている。また投資的経費の比率は39.4%であつて、この両者が歳出総額の74.8%を占めている。

そのうちの公債費はどのような趨勢にあるのかというと、本年度は市債の累増に伴う増高額が前年度より1,700千円余であるが、一般財源との割合は5%以内にとどまつている。又、建設事業費においては、市民の生活圏として快適な環境を整えるための諸施設の拡充によつて年々増嵩の一途をたどつてきたが、本年度においても68,400千円である。

この事業費の目的別の主なものは図表6のとおりで、教育費、土木費、衛生費および農業費で全体の9割を占めている。

つぎに、一般財源の充当状況は図表7のとおりで、教育施設事業に、42,700千円の構成割合が30%で一般財源の充当割合67.3%であり、ついで土木施設事業に26,700千円、構成割合が18.6%で一般財源の充当割合87.6% 保険衛生施設事業に15,300千円 構成割合が10.7% 充当割合が52.7%と示している。

総務費関係においては28,100千円で構成割合が19.6%、一般財源の充当割合が90.6%である。

昭和43年度 一般会

図表 6

区 分	本年度予算額	経 常 費		
		人 件 費	物 件 費	そ の 他
1.議 会 費	35,706	30,815	4,579	312
2.総 務 費	305,679	207,272	56,598	18,141
3.民 生 費	216,028	63,948	18,603	26,145
4.衛 生 費	290,079	55,536	77,372	26,980
5.労 働 費	5,105	719	873	1,721
6.農 業 費	28,714	12,074	1,395	8,299
7.商 工 費	20,375	4,612	357	6,156
8.土 木 費	302,757	43,874	8,256	1,016
9.消 防 費	51,472	977	1,264	45,081
10.教 育 費	635,385	131,631	89,441	23,668
11.災 害 復 旧 費	1	0	0	0
12.公 債 費	64,268	0	0	0
13.予 備 費	15,220	0	0	0
計	1,970,789	551,458	258,738	157,519

一般会計歳出予算款項

図表 7

款 別	予 算 額	財 源		特 定 財	
		一般財源	特定財源	国庫支出金	都支出金
1.議 会 費	35,706	35,706	0	0	0
2.総 務 費	305,679	277,009	28,670	0	20,417
3.民 生 費	216,028	106,434	109,594	73,952	11,216
4.衛 生 費	290,079	153,273	136,806	25,500	33,897
5.労 働 費	5,105	5,085	20	0	20
6.農 業 費	28,714	23,551	5,163	0	3,907
7.商 工 費	20,375	10,617	9,758	0	0
8.土 木 費	302,757	265,187	37,570	8,000	9,000
9.消 防 費	51,472	51,472	0	0	0
10.教 育 費	635,385	427,633	207,752	113,492	13,240
11.災 害 復 旧 費	1	1	0	0	0
12.公 債 費	64,268	62,519	1,749	0	0
13.予 備 費	15,220	15,220	0	0	0
合 計	1,970,789	1,433,707	537,082	220,944	91,697

計各款別経費構成

(単位千円)

計	維持 補修費	扶 助 費	専 業 費	貸 付 金 出 借 金 公 繰 予 備 費
35,706	0	0	0	0
282,011	1,224	0	11,986	10,458
108,696	0	78,886	7,946	20,500
159,888	0	0	123,697	6,494
3,313	0	0	1,792	0
21,768	0	0	6,876	70
11,125	0	0	0	9,250
53,146	2,335	0	138,276	90,000
47,322	0	0	4,150	0
244,740	5,403	1,964	383,158	120
0	0	0	1	0
0	0	0	0	64,268
0	0	0	0	15,220
967,715	27,962	80,850	677,882	216,380

別財源内訳書

(単位千円)

源 の 内 訳				
負 担 金	使 用 料 及 手 数 料	市 債	諸 収 入	そ の 他
0	0	0	0	0
0	3,295	0	0	4,958
19,982	103	0	2,443	1,908
0	27,409	50,000	0	0
0	0	0	0	0
1,256	0	0	0	0
0	0	0	9,758	0
9,510	1,059	0	0	10,001
0	0	0	0	0
0	8,786	72,000	234	0
0	0	0	0	0
0	1,749	0	0	0
0	0	0	0	0
30,748	42,401	122,000	12,425	16,867

歳 出 別

図表 8

	1	2	3	4	5	6	7
	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農業費	商工費
1.報酬	1,6486	1,076	780	0	27	1,764	104
2.給料	4,525	110,074	33,880	28,554	380	5,516	2,464
3.職員手当	8,501	85,274	25,903	24,022	273	4,245	1,799
4.共済費	1,303	10,848	3,385	2,960	39	549	245
5.災害補償費	0	0	0	0	0	0	0
6.恩給及び退職年金	0	0	0	0	0	0	0
7.賃金	0	451	139	645	101	60	100
8.報償費	3	5,350	3,852	400	133	288	146
9.旅費	1,334	2,301	444	309	26	307	40
10.交際費	1,200	2,452	0	10	0	100	0
11.需用費	1,665	23,978	13,568	19,019	284	717	110
12.役務費	73	7,930	1,111	724	12	23	22
13.委託料	240	17,559	21,665	58,640	200	93	585
14.使用料及び手数料	50	2,595	20	216	53	75	35
15.工事請負費	0	5,370	7,946	122,696	0	6,848	0
16.原材料費	0	68	63	0	1,749	7	0
17.公有財産購入費	0	2,101	0	1	0	0	0
18.備品購入費	46	7,060	1,153	1,441	440	106	50
19.負担金補助及び交付金	280	9,119	2,732	23,891	1,388	7,946	5,425
20.扶助費	0	0	78,886	0	0	0	0
21.貸付金	0	0	500	0	0	0	9,250
22.補償補填及び賠償金	0	647	1	87	0	0	0
23.償還金利子及び割引料	0	968	0	0	0	0	0
24.投資及び出資金	0	0	0	3,104	0	70	0
25.積立金	0	10,458	0	0	0	0	0
26.寄付金	0	0	0	0	0	0	0
27.公課費	0	0	0	0	0	0	0
28.繰出金	0	0	20,000	3,390	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0
合計	35,706	305,679	216,028	290,079	5,105	28,714	20,375

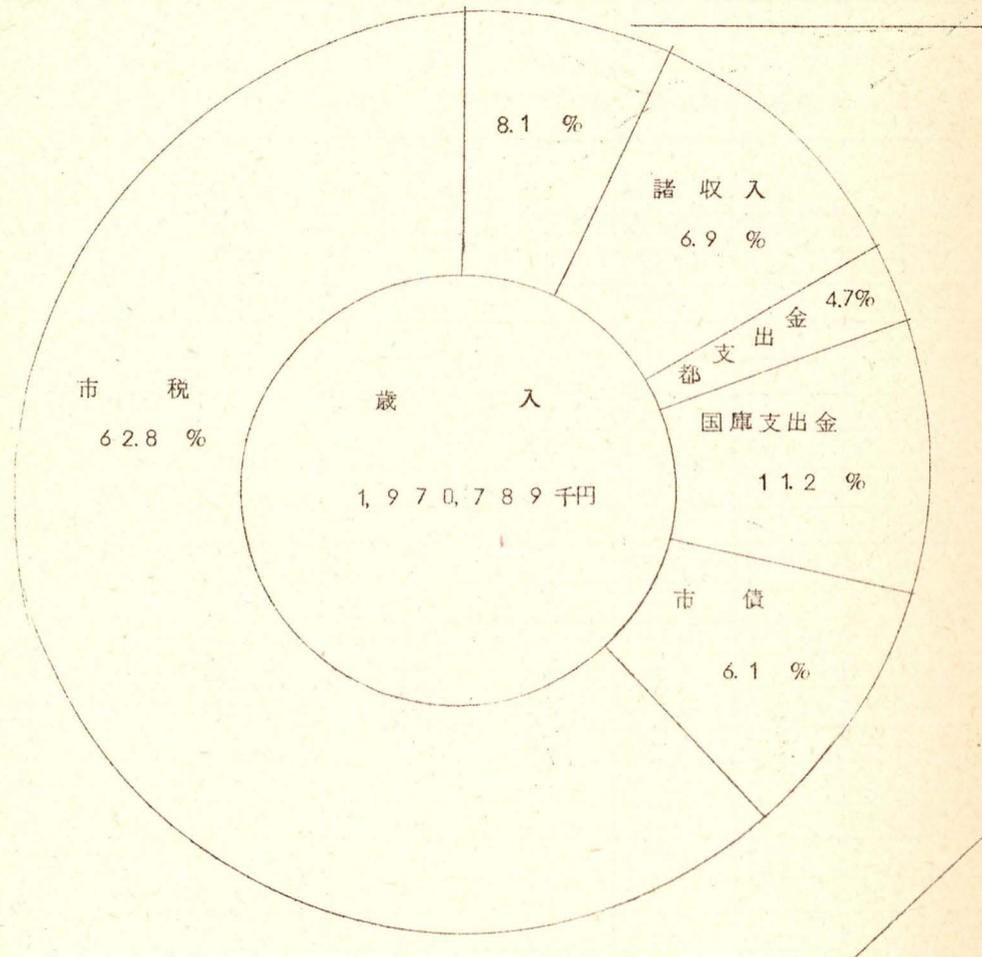
明 細 書

(単位千円)

8	9	10	11	12	13	合計	総予算額 に対する 百分比
土木費	消防費	教育費	災害 復旧費	公債費	予備費		
0	665	3,686	0	0	0	24,588	1.2
23,440	0	69,936	0	0	0	278,769	14.1
18,113	312	51,463	0	0	0	219,905	11.2
2,321	0	6,626	0	0	0	28,276	1.4
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
1,044	0	4,150	0	0	0	6,690	0.3
54	187	5,664	0	0	0	16,077	0.9
199	181	2,206	0	0	0	7,347	0.4
110	70	450	0	0	0	4,392	0.2
5,624	816	41,197	0	1	0	106,979	5.4
168	19	4,839	0	6	0	14,927	0.8
2,713	43,577	17,994	0	0	0	163,266	8.3
24	3	1,176	0	0	0	4,247	0.2
141,211	4,150	361,199	1	0	0	649,421	33.0
3,050	5	1,576	0	0	0	6,518	0.3
10,850	0	5,026	0	0	0	17,978	0.9
2,505	170	48,511	0	0	0	61,452	3.1
1,331	1,317	6,950	0	0	0	60,379	3.1
0	0	1,964	0	0	0	80,850	4.1
0	0	0	0	0	0	9,750	0.5
0	0	1	0	0	0	736	0.1
0	0	651	0	64,261	0	65,880	3.3
0	0	120	0	0	0	3,294	0.2
0	0	0	0	0	0	10,458	0.5
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
90,000	0	0	0	0	0	113,390	5.8
0	0	0	0	0	15,220	15,220	0.7
302,757	51,472	635,385	1	64,268	15,220	1,970,789	100.0

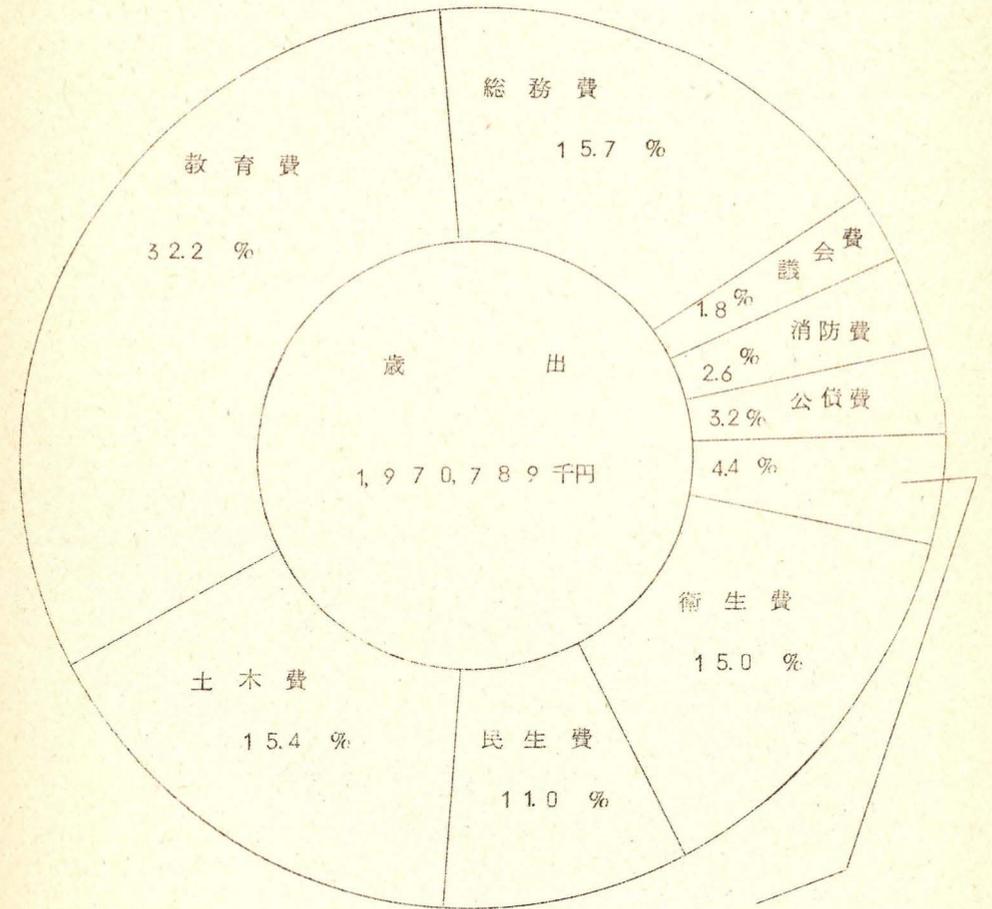
図表 9 構成比

歳入



- 分担金及び負担金 2.0%
- 使用料及び手数料 2.5%
- 財産収入 0.1%
- 繰越金 3.0%
- 自動車取得税交付金 0.5%

歳出



- 労働費 0.2%
- 農業費 1.4%
- 商工費 1.1%
- 予備費 0.4%

第1款 議会費

☆ 議会費は、議員報酬および議会運営に要する経費ならびに議会議務局にかかる経費について算出した。その算定にあつての、議員数と事務局職員数は、次のとおりである。

議員数 30人
 事務局職員数
 局長 1 係長 1 主事及び主事補(技師補) 7

議会費の主要業務計画

(単位 千円)

業 務	事業概要	事務費	財 源 内 訳				備 考
			国都支出金	市 債	その他	一般財源	
議会報発行	年4回発行	840 ^{千円}	0	0	0	840 ^{千円}	

第2款 総務費

☆ 総務費は、これを総務管理費、徴税費、戸籍住民登録費、選挙費、統計調査費および監査委員費の6項に区分した。

その中に、本年度の重点施策の1つとして、目録、町名地番整理費、市制記念事業費を設置した。又、本年度は参議院議員選挙が施行されるので、独立した目を設置した。尚、戸籍住民登録費は年度中において(仮称)住民基本台帳費として変更がある。

次に、予算算定に当つての行政規模は次のとおりである。

世帯数 26,423 世帯
 有権者数 55,010 人
 選挙管理委員数 4 人
 監査委員数 2 人

次に、住民基本台帳、世帯人口は次のとおりである。

昭和43年6月1日現在

1. 世帯数

	本 月	前 月	前 月 比	前 年 比	摘 要
総 数	26,423	26,181	242	1,249	
本 庁	7,573	7,490	83	340	
七生支所	8,313	8,187	126	1,548	
多摩平支所	10,537	10,504	33	△639	

2. 人 口

昭和43年6月1日現在

	本 月	前 月	前 月 比	前 年 比	摘 要
総 数	81,218	80,722	496	3,412	
本 庁	23,039	22,821	218	361	
七生支所	26,334	26,085	249	3,190	
多摩平支所	31,845	31,816	29	△139	

外国人登録国籍別人口は次のとおりである。

昭和43年6月1日現在

	総 数	男	女	世 帯 数	摘 要
中 国	38	22	16	17	
韓 国	88	49	39	36	
米 国	19	10	9	8	
そ の 他	9	5	4	4	
計	154	86	68	65	

次に、総務費における職員数構成は次表のとおり

区 分 (項)	課 名	部 長	行 政 組 織			計	
			課 長	係 長	主事及び主事補		
総務管理費	秘 書 課		2	2	6	10	
	人 事 課		1	1	7	9	
	企 画 室		1	4	7	12	
	資料室兼社会福祉推進本部		1	2	3	6	
	庶 務 課	1	1	2	12	7	23
	財 務 課		1	2	9	12	
	管 財 課		1	2	11	14	
	出 納 課		1	1	6	8	
	七生支所 (出張所を含む 1ヶ所)		1	2	9	12	
	多摩平支所 (出張所を含む 2ヶ所)		1	3	10	14	
計		1	11	21	80	7	120
徴 税 費	課 税 課		1	3	26	30	
	徴 収 課		1	2	11	1	15
	計		2	5	37	1	45
戸籍住民登録費	市 民 課		1	2	13	16	
選挙管理委員会費			1	1	4	6	
監査委員費					2	2	
合 計		1	15	29	136	8	189

主 費 の 務 総

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費	
総	石油ストーブ設置	10ヶ所 @30,000	300	
	市広報発行	年28回発行	4,303	
	浄書印刷委託	庁内印刷	4,076	
	マイクロバス購入	28人乗り 1台	2,000	
	庁舎積立金	庁舎建設費積立基金	10,458	
	日野市基本的総合 計画策定書	審議会に委嘱する	859	
	給与計算委託	7月より実施する予定	3,000	
	住民基本台帳整備	市民課, 保険課, 選管, 課税課, 衛生課, 教育 委員会等関連した整備作業するため企画室で調 整(異動届書の一本化及び市民個人カード)	4,487	
	移動書庫購入	スライダック 2基購入	1,070	
	印鑑照合器購入	印鑑証明発行確認用 3台	60	
	ガードレール設置工事	1,100m	3,850	
	カーブミラー設置工事	13ヶ所設置予定	455	
	務	通学路標識設置工事	97本	290
町名地番整理事業		町名地番整理審議会委嘱と共に事業推進	1,929	
たばこ販売店組合助成		たばこ自動販売器購入用のため	300	
参議院議員選挙		7月施行	2,875	
都民便利帳配布負担		東京都市全世帯に配布するための負担金	110	
費		各種統計調査実施	就業構造基本調査 7月実施 住宅統計 " 10月 " 予定 商業統計 " 7月 工業統計調査 12月実施予定 農業経営基本調査 2月 " 個人経済力調査 5月 "	1,292
		多摩平支所改修工事	学童保育活動のため二階改修	196
		市制記念事業	市制5周年記念概算額を計上 各款に計上のもの 商業祭 商工祭 記念植樹 体育協会記念事業	500

要 業 務 計 画

(単位:千円)

国都支出金	財 源 内 訳			備 考
	市 債	そ の 他	一般会計	
0	0	0	300	従来の石炭ストーブを交換
0	0	0	4,303	月2回1日号, 15日号 臨時号4回
0	0	0	4,076	
0	0	0	2,000	大型バスを処分(本年度で耐用年数終了)
0	0	0	10,458	基金総額 20,458千円
0	0	0	859	
0	0	0	3,000	その内プログラム料1,500千円は今年限り
0	0	0	4,487	住民基本台帳法施行に伴うもの
0	0	0	1,070	書庫購入による4倍の書類が入る
0	0	0	60	本庁, 支所
0	0	3,850	0	
0	0	455	0	
0	0	290	0	学校周辺(半径100m以内に設置)
0	0	0	1,929	
0	0	0	300	売上増進
2,875	0	0	0	
0	0	0	110	
618	0	0	672	
0	0	0	196	
0	0	0	500	

第3款 民生費

☆ 民生費は、これを社会福祉費、児童福祉費、生活保護費および災害救助費の4項に区分した。そして、本年度は新たに目として、身障者福祉費、精薄者福祉費を設置し、特に市民健康相談を重点的に実施するため目として保健施設費を設置した。尚、前年度において、項として国民年金費を計上したが、社会福祉費の一環としたために廃項とした。

つぎに予算算定にあつての行政規模は次のとおりである。

被生活扶助者数	402世帯
保育所	4ヶ所
児童遊園地	4ヶ所
学童保育	2ヶ所
福祉センター（高幡会館を含む）	2ヶ所
公益質屋	1ヶ所
共同作業場	1ヶ所
国民年金加入者数	7,762名

次に、民生費における職員数および職員構成はつぎのとおり

	経 費 区 分			行	
	項	目	細 目	課	係
1. 一般行政	社会福祉費	社会福祉総務費	社会福祉関係職員数	福祉事務所	
			国民年金費	保険課	
	児童福祉費	児童福祉総務費	児童福祉関係職員数		
	生活保護費	生活保護総務費	生活保護事務職員数		
2. 施設	社会福祉費	社会福祉施設費	福祉センター		
		その他	公益質屋		
	児童福祉費	児童福祉施設費	保育所費		
	計				

民生費の主

款	業 務	事 業 概 要	事業費
民 生 費	身体障害者福祉費	福祉手当支給 対象予定人員 70人	1,554
	精神薄弱者福祉費	福祉手当支給 対象予定人員 19人	360
	敬老金支給	支給対象者数 1,694人	1,978
	敬老会	市内を8ヶ所単位に分け主に芸能観賞を主として実施する	1,035
	慰霊祭及び戦没者の合礼費		250
	老人クラブ補助	老人クラブ15ヶ所 1ヶ所54,000	810
	公益質屋基金	運営費の基金総額 5,000,000円	400

政 組 織					
部 長	課 長	係 長	主事及び主事補	備 員	計
1	1	1	4		7
		1	4	1	6
			2		2
		1	6		7
		1	6		7
			1		1
			(保母) 37	8	45
1	1	4	60	9	75

要 業 務 計 画

(単位 円)

財 源 内 訳				備 考
国都支出金	市 債	その他	一般財源	
0	0	0	1,554	本年度より実施
0	0	0	360	
0	0	0	1,978	
0	0	0	1,035	
0	0	0	250	
720	0	0	90	
0	0	0	400	

款	業 務	事 業 概 要	専 業 費
	ホームヘルパー 事業	老人家庭, 身障者, 精薄者家庭へのホームヘルパー	576
	小地区センター設置 工事	日の萬地区) 2ヶ所設置 三沢地区	5,200
	保健施設費	市民健康相談を充実するため専門員を設置	197
	国民健康保険会計へ繰出金	運営資金として	19,000
	児童措置	市立保育所及び私立, 管外保育所の措置費	32,996
	児童遊園地整備	市内6ヶ所	2,711
	学童保育	日野一小地区(センター内) 多摩平地区(多摩平支所内)	2,092
	生活保護費		70,009
	光の家助成	補助金 500 貸付金 500	1,000
	年金業務		2,319

財 源 内 訳				備 考
国都支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
400	0	0	176	
0	0	0	5,200	
0	0	0	197	
0	0	0	19,000	
9,753	0	10,928	12,315	
666	0	0	2,045	
1,060	0	0	1,032	
58,502	0	0	11,507	
0	0	0	1,000	
319	0	2,000	0	

第4款 衛 生 費

☆ 衛生費は、これを保健衛生費、清掃費および下水道費の3項に区分した。

つきに、予算算定に当たりの行政規模は次のとおりである。

塵芥処理場	1ヶ所
し尿処理場	1ヶ所
火葬場	1ヶ所
伝染病院隔離病舎	1ヶ所
(参 考)	市立総合病院
	水道施設
	多摩平下水道施設

つきに清掃規模は次のとおり

ごみ収集対象人口および世帯数

区 分	
収 集 人 口	75,800人
収 集 世 帯 数	25,300

し尿収集人口および世帯数

区 分	
し尿収集人口	60,000 人
し尿収集世帯	19,000 世帯
参 考	下水処理人口
	16,831 世帯
	自家浄化槽
	500世帯

次に、衛生費における職員数および職員構成はつぎのとおり

区 分		行 政		
		部 長	課 長	係 長
保 健 衛 生 費	衛 生 課	1	1	2
清 掃 費	清 掃 課 (多摩平下水道含む)		1	3
計		1	2	5

衛 生 費 の 主

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費
衛	伝 染 病 予 防 関 係	伝染病患者入院診療費	980,000
		東部共立病院分担金	2,241,000
		消 毒 等	859,000
	予 防 接 種 関 係	医薬材料、ワクチン購入等	6,249
生 費	母 子 保 健 関 係	母子栄養強化	47
	結 核 予 防 関 係	市民検診委託	848
	火 葬 場 管 理 事 業	火葬炉改修工事、万年塀工事 門工事一式、石積工事	1,675
	墓 地 管 理 事 業	垣根補修工事等	203
	そ 族 昆 虫 駆 除 対 策 事 業		3,251
	病 院 事 業	一般会計で負担するもの	14,620
	じ ん 芥 処 理 施 設 事 業	40t炉じん芥焼却炉増設工事及び鉄製ベルト コンベア工事、重量計上屋工事	43,300
	ご み 収 集 委 託	全世帯対象	27,720
	し 尿 処 理 施 設 事 業	し尿処理施設増設工事(継続事業)及びガス タンク移管に伴う配管工事	77,660
		し尿汲取委託及事業補助全世帯対象	37,470
都 市 美 化 費	花いつばい及市制記念植樹事業美化活動車 購入	2,560	

組 織		計
主 事 ・ 主 事 補 ・ 技 師 ・ 技 師 補	雇 傭 人	
9	3	16
16	24	44
25	27	60

要 事 業 計 画

(単位 千円)

財 源	内 訳			備 考
	国 都 支 出 金	市 債	そ の 他	
100	0	0	3,980	
4,047	0	0	2,202	
24	0	0	23	
848	0	0	0	
0	0	0	1,675	
0	0	0	203	
0	0	0	3,251	
0	0	0	14,620	
13,500	23,000	0	6,800	
0	0	0	27,720	
40,500	27,000	0	10,160	
0	0	27,354	10,116	
0	0	0	2,560	

昭和43年度 保健衛生

種	目	実施期間	対象者
種痘	1期 春	4月上旬	S42. 7. 1~42.12.31生
	秋	10月上旬	S43. 1. 1~43. 6.30生
	2期	2月上旬	S37. 4. 2~38. 4. 1生
ポリオ	3期		1
	1.2回目 春	5月上旬	S42. 1. 1~42.12.31生
	1.2回目 秋	11月上旬	S42. 7. 1~43. 6.30生
ジフテリア混合百日咳	1期 春	4月中旬~6月上旬	S42. 7. 1~42.12.31生
	(1.2.3回) 秋	11月上旬~12月下旬	S43. 1. 1~43. 6.30生
	2期 春	5月中旬	S41. 1. 1~41. 6.30生
ジフテリア	秋	11月中旬	S41. 7. 1~41.12.31生
	3期	1月下旬	S37. 4. 2~38. 4. 1生
腸チフス混合パラチフス合	4期		
	1期(1.2.3回)	6月上旬~6月下旬	S39. 4. 1~40. 3.31生
	2期(一般) 学童・生徒	6月下旬	S39.3.31以前に生れた者
インフルエンザ	一般	10月上旬~10月下旬	生後満3ヶ月以上の者
日本脳炎	一般	5月下旬~6月上旬	生後満6ヶ月以上の者
結核			

昭和43年度 防疫薬剤

薬剤名	主成分	予算額	購入量	配布	
				配布基準	数量
スミチオン乳剤	フェントロチオン 10%	1,400,000円	200缶	世帯当り 145CC	世帯 25,000
オルソ乳剤	オルソジクロルベルベン 60% クレゾール 15%	595,000円	170缶	—	—
混合油剤	DDVP...0.3% } 混合 リンデン...0.5% } か DDVP...0.3% } 混合 DDT ...0.5% }	900,000円	600缶	450CC	18,000世帯
殺そ剤	クマリン 1%	294,000円	14,700袋	1袋	16,000世帯
粉剤	DDT 1% か BHC 1.5%	36,000円	30袋	—	—

事業計画

実施予定人員	実施会場数	医師起用人員	看護婦起用人員	備考
1,300人	7	17人	14人	…教育委員会で実施
1,300人	7	17人	14人	
2,200人	8	16人	16人	
900人	8			
2,600人	8	11人	8人	…教育委員会で実施
2,600人	8	11人	8人	
1,300人	7	30人	21人	
1,300人	7	30人	21人	
1,000人	7	10人	7人	…教育委員会で実施
1,000人	7	10人	7人	
2,200人	8	8人	8人	
900人	8			
1,800人	7	21人	21人	…教育委員会で実施
3,000人	7	7人	3人	
9,000人	11			
16,200人	8	100人	16人	
15,000人	8	140人	77人	

配布計画予定表

明細 配布回数	配布時期	摘要
2回	1回目 5月中旬 2回目 11月中旬	屋外の発生源駆除対策に用いウジ、ボウフラ等の駆除に大きな効果がある。
1~3回	8月 ~ 9月	上記と同じ効果があり、その他伝染病予防上の代用消毒剤としても使用する。(主に台風災害時に使用残りをスミチオン乳剤と同時に配布)
1回	5月中旬	速効性で成虫駆除に用い主に屋内のカ、ハエの駆除、又煙霧消毒によく用いられる
1回	11月中旬	人畜に低毒性で家ねずみ、ドブねずみ駆除に使用する。
—	—	主に屋外発生源駆除対策に用いる残効性を生かし公園、墓地、荒地等に散布する。(衛生課で使用)

第5款 労働費

☆ 労働費は、失業対策費と労働諸費の2項に区分した。その中に本年度の重点施策の1つとして、目次、勤労者福祉対策費を設置した。

次に、予算算定に当たりの行政規模は次のとおりである。

失業対策事業、年間就労人員 4,224人

次に、労働費における職員数はつぎのとおり

区 分	主事及び主事補 雇備人	計
土木費	1	1

労働費の主

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費
労働費	勤労者福祉対策	学 校 開 放	397
		地方学校卒業生グループ育成	43
		市内中学卒業就職者激励会	66
		母 の 家 開 設	82
		勤労者福祉推進団体組織	37
		中小企業従事する人達のための貸出文庫	360
		勤労者団体の助成費	300
		勤労者福利厚生向上費	200
	失業対策費	潤徳小学校外柵及市道補修のための原材料	1,584

第6款 農業費

☆ 農業費は、農業費の1項だけである。

つぎに予算算定に当たりの行政規模はつぎのとおり

農 家 戸 数 946戸

農 業 従 事 者 数 1,707人

農 家 人 口 5,397人

つぎに農業費における職員数および職員構成はつぎのとおり

区 分	課 長	係 長	主事及び主事補	計
農業委員会		1	2	3
産 業 課	1	1	7	9
計	1	2	9	12

要事業計画

(単位 千円)

財 源 内 訳				備 考
国都支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
0	0	0	397	
0	0	0	43	
0	0	0	66	
0	0	0	82	
0	0	0	37	
0	0	0	360	
0	0	0	300	
0	0	0	200	
0	0	0	1,584	

農業費の主

款	業務	事業概要	事業費
農	用水改修工事	上田用水	6,848
		日野用水	
下堰用水			
業	アメリカシロヒトリ防除対策		265
		補助事業	6,151
費		トラクター購入補助 700,000	6,151
		揚水機設置補助 1,500,000	
		園芸関係奨励事業補助 2,130,000	
		農業共済事業補助 1,000,000	
		蚕糸、家畜事業補助 371,000	
		近代化資金利子補給 450,000	

要事業計画

(単位 千円)

国都支出金	財源内訳			備考
	市債	その他	一般財源	
2,440	0	1,256	0	
130	0	0	135	
0	0	0	6,151	

第7款 商工費

☆ 商工費は商工費の1項だけである。

つきに、予算算定に当たりの行政規模はつぎのとおりである。

商業者数 704人

工業者数 74人

つきに職員数と職員構成はつぎのとおり

区分	行政組織			計
	係名	係長	主事及び主事補	
産業課	商工係	1	2	3
	観光係		1	1
計		1	3	4

商工費の主

款	業務	事業概要	事業費
商 工 費	商工振興事業補助	商工会補助 2,000,000	14,362
		売上増進対策補助 1,300,000	
		工場誘致補助 1,527,000	
		企業経営振興対策 135,000	
		職業訓練所委託 100,000	
		企業組織化育成振興対策 50,000	
		小口事業資金貸付預託金 5,250,000	
		中小企業厚生施設資金預託金 4,000,000	

要事業計画

(単位 千円)

国都支出金	財源内訳			備考
	市債	その他	一般財源	
0	0	9,250	5,112	

第8款 土 木 費

☆ 土木費は、これを土木管理費、道路橋りよう費、都市計画費、および住宅費の各項に区分した。

つきに、予算算定にあつての行政規模は次のとおりである。

道 路 面 積 1 Km²
道 路 延 長 312 Km

つきに、土木関係職員数と構成は、つぎのとおり

区 分		行 政		
		部 長	課 長	係 長
土木課	土木係	1	1	2
都市計画課	計画係		1	1
建築課	建築係		1	1
下水道課			1	
	計	1	4	4

土 木 費 の 主

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費
土 木 費	自動車購入	道路パトロール用 補修車 1台 ダンプ車 1台	2,400
	道路維持費	舗装補助工事 3,550,000 舗装復旧工事 1,200,000 道路補修工事 2,500,000 側溝補修工事 1,000,000 用排水路改修 2,000,000 豊田、堀之内排水管理設工事 7,000,000 元木地内排水管理設工事 350,000 早期道路補修原材料 2,958,000	20,559
	道路新設改良費	詳細については別紙図面のとお	117,226
	都市計画事業	都市計画事業会計へ繰出金	90,000
		吹上団地地区外排水工事及び擁壁工事	15,901
	街路灯費	街路灯新設 150ヶ所	1,440

組 織		計
主事及び主事補・技師及び技師補	雇 傭 人	
		1
12	11	26
13		15
5		7
2		3
32	11	52

要 事 業 計 画

(単位 円)

財 源 内 訳				備 考
国都支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
0	0	0	2,400	
0	0	0	20,559	
17,000	0	0	100,226	
0	0	0	90,000	
0	0	0	7,591	
0	0	0	1,440	

道路改修，舗装，側溝新設計画

道路改修 20,900,000円
 補助13号線 (滝合橋～都道173号線迄) 下部工一部
 玉川1号線 (河内地内)
 不動中1号線 (高幡地内)
 豊田29号線 (都道159号線～節絹下迄)
 八王子町田18号線 (帝人下～豊田団地迄)

側溝新設 4,950,000円
 緑ヶ丘
 第2豊田荘
 向川原市営住宅内
 平山地内
 東太久保地内
 多摩平6丁目地内

舗装 80,000,000

場 所	路 線 名	予 算
多摩平1丁目	多摩平 44 号線	74,000,000
	" 48 "	
	" 47 "	
	" 49 "	
多摩平2丁目	多摩平 37 "	
	" 42 "	
	" 70 "	
多摩平3丁目	多摩平 50 "	
	" 52 "	
	" 55 "	
	" 57 "	
	" 59 "	
	" 60 "	
	" 61 "	
	" 71 "	
多摩平5丁目	多摩平 9 "	
	" 28 "	
	" 65 "	

場 所	路 線 名	予 算
多摩平5丁目	多摩平 66 号線	
多摩平6丁目	多摩平 3 "	
	" 13 "	
	" 14 "	
	" 16 "	
	" 19 "	
	" 21 "	
	" 29 "	
	" 36 "	
	" 68 "	
	" 69 "	
" 22 "		
緑ヶ丘	北御越前 8 "	
	" 10 "	
	" 15 "	
	" 16 "	
	" 17 "	
	" 18 "	
	" 19 "	
	" 20 "	
	" 21 "	
	" 22 "	
	" 25 "	
	" 26 "	
" 27 "		
" 28 "		
" 30 "		
	南御越前 5 "	
北御越前	補助7号線(中央道～都市計画街路2.1.4)	
東光寺市営住宅	東光寺市住 3 "	
	" 4 "	
	" 5 "	
	" 7 "	
	" 20 "	
	" 21 "	
上屋敷	上屋敷 20 "	
	" 25 "	
東光寺東元神鋼社宅	東光寺東 18 "	
姥久保	姥久保2号線(3小～西町間)中央道下	
小溝	小溝 9 号線	

場 所	路 線 名	予 算
万 願 荘	東常安寺 3 号線	
	" 4 "	
	" 5 "	
	" 6 "	
	" 8 "	
	" 9 "	
	" 10 "	
	" 12 "	
芳 住 協	中万願寺 10 "	
	源 平 島	4小進入路 多摩川堤防敷(日野橋~第4小学校附近)
新 井	下田30号・新井13号線	
下 田	下田4・5号線	
中 万 願 寺	補助15号線	
宮 ・ 上 田	宮10号・上田3号線	
	宮 14 号線	
	" 18 "	
	上田川原付線	
若 宮 町 市 住	若宮町市住2号線	
北 広 間 地	北広間地 6 号線	
仲 井	仲 井 3 "	
	" 4 "	
谷 戸	谷 戸 5.6.8 "	
堀 の 内	堀の内 48 "	
	補助1号線	
豊 田	豊 田 8 号線	
	" 28 "	
	" 76 "	
	" 63 "	
	" 43 "	
第 1 豊 田 荘	豊 田 66 "	
	" 68 "	
	" 69 "	
	" 70 "	
	" 72 "	
第 2 豊 田 荘	豊 田 47 "	
	" 51 "	
	" 53 "	

場 所	路 線 名	予 算
第 2 豊 田 荘	豊 田 54 号線	
	" 55 "	
城 跡 ケ 丘 市 住	城跡ヶ丘市住西通 大久保 7 号線	
中 込	補助13号線	
川 北	上原15号 山中2号線	
平 山	平山橋程久保線	
	平山橋程久保2号線	
	由 木 2 号線	
	学 校 1 号線	
南 平	七 生 63 号線	
	七 生 56 号線(七生中裏)	
	豊田151号線(一番橋~向川原市住)	
	補助 19 号線	
向 川 原 市 住	向川原市住2.3.4.7号線	
落 川	補助17号線(上落川地内)	
	玉川 1 号線(河内)	
	補助17号線(下落川地内)	
そ の 他		6,000,000
計		80,000,000

第9款 消 防 費

☆ 消防費の予算算定に当つての行政規模は次のとおりである。

常備消防	非常備消防
消 防 本 部 } 1ヶ所	消 防 団 1
消 防 署 } 1ヶ所	分 団 8分団
出 張 所 1ヶ所	消 防 自 動 車 3 台
消 防 自 動 車 5 台	可 搬 式 動 力 ポンプ 23 台

消防本部署職員					
消防指令長(署長)	消防指令	消防指令補	消防士長	消防士	計
1	2	6	10	61	80

事務職員
事務吏員 1

消防団員						
団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
1	3	8	8	26	128	346
						計
						520

つきに、消防施設についてはつぎのとおり

消 火 栓	水 利 標 式	貯 水 槽
3 9 2	3 3 3	9 4

第10款 教 育 費

☆ 教育費は、これを教育総務費、小学校費、中学校費、幼稚園費、社会教育費、および保健体育費の各項に区分した。

つきに本年度の予算算定にあつての行政規模は、次のとおりである。

小 学 校	8校	児童数(5月1日現在)
中 学 校	3校	生徒数(5月1日現在)
幼 稚 園	3園	園児数(5月1日現在)
公 民 館	1館	
大地区センター	2ヶ所	
図 書 館(移動図書館)	4ヶ所	
市 営 プ ール	1ヶ所	
総 合 グ ラ ン ド	1ヶ所	
林 間 施 設	1ヶ所	

つきに教育費における職員数および職員構成は次のとおり

①教育委員会事務局および施設

区 分	教育長	課 長	係 長	主事及び主事補雇備人	計
庶 務 課	1	1	2	5	9
学 校 教 育 課		1	2	8	11
社 会 教 育 課		1	1	9	11
図 書 館		(館長)1	2	11	14
公 民 館				2	2
計	1	4	7	35	47

(注) 公民館長は社会教育課長の兼任とする。

教 育 費 の 主

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費
教 育 費	奨 学 金 支 給	対象者 50人	1,260
	教 育 相 談 室 充 実	相談室検査用具、療法用遊具等	443
	林 間 施 設 管 理 費	大成荘維持管理	1,190
	児 童 用、生 徒 用 机、 椅子購入	(市内小学校6年生全員 市内中学校2年、3年生全員) 1人用机新規 取替	6,773

6,738人	学 級 数	179
2,472人	学 級 数	69(内特殊学級 5)
521人	学 級 数	14

② 学校(小中学校の教育及び事務主事を除く)

区 分	園長及び教諭	事務助手及び主事補	給食従事員	栄養士	用務員	警備員	交通擁護員	計
小学校		9	37	7	16	8	4	81
中学校		6	0	0	6	3	0	15
幼稚園	17	0	0	0	3	0	0	20
計	17	15	37	7	25	11	4	116

要 業 務 計 画

財 源	内 訳			備 考
	国都支出金	地 債	そ の 他	
			一般財源	
0	0	0	1,260	
0	0	0	443	
0	0	0	1,190	
0	0	0	6,773	

款	業 務	事 業 概 要	事 業 費
教	結核健康診断	間接撮影, BCG接種等(小・中学生) 9,060人	1,815
	検 便	回虫検査, 細菌検査(小・中学生) 9,060人	888
	第1小学校屋内運動場 改 装 工 事	市立集会場を体育館に改装	3,875
	第2小学校校舎改築工事	防 音 校 舎	108,732
	第5小学校校舎増築工事 及給食, 職員室改修工事	債 務 負 担 分	47,200
	第6小学校校舎増築工事	債 務 負 担 分	47,000
	第8小学校校舎新築工事	12教室新築 埋立工事 八小開設備品	81,473
	潤徳小屋内運動場新 築 工 事		25,824
	平山小特別教室改修工事		1,200
	校地公園買収分	5小, 6小分 二中分	5,677
費	仮設教室増設工事	10教室 (債務負担行為)	4,645
	七生中学校校舎改築工事	防 音 校 舎	51,615
	文化財保護関係		180
	青少年問題協議会		213
	芸術文化事業関係	文化祭等	569
	新生活運動関係	実践地区(平山)を中心に全市指導新生活 運動の推進	136
	成人教育関係	対象一般市民	86
	婦人教育関係	対象一般市民	667
	青年教育関係		817
	子供会関係		369
	視聴覚教育関係		125
	図書館事業	一般市民	14,280
	市民ソフトボール大会	一般市民	233
	市民歩く運動大会	"	186
	市民陸上競技大会	"	211
	水泳初心者講習会	"	55
	体育活動育成費	市民レクリエーション大会等	1,188
	幼児用プール建設工事 及び管理棟増設工事		3,925
	多摩平バレーコート 建 設 費	本 体 工 事(2面工事) 給 配 水 工 事 外 柵 工 事	1,000

財 源 内 訳	財 源 内 訳			備 考
	国都支出金	市 債	そ の 他	
	0	0	0	1,815
	0	0	0	888
	0	0	0	3,875
	53,454	11,000	0	44,278
	10,234	15,000	0	21,966
	6,366	9,000	0	31,634
	13,742	20,000	0	47,731
	5,978	8,000	0	11,846
	0	0	0	1,200
	0	0	0	5,677
	0	0	0	4,645
	24,395	9,000	0	18,220
	0	0	0	180
	34	0	0	179
	0	0	0	569
	50	0	0	86
	0	0	0	86
	35	0	0	632
	0	0	0	817
	0	0	0	369
	0	0	0	125
	0	0	0	14,280
	0	0	0	233
	0	0	0	186
	0	0	0	211
	0	0	0	55
	0	0	0	1,188
	0	0	0	3,925
	0	0	0	1,000

小学校設置状況

地区	学校別規模			一学級当り児童数	一校当り教室数				
	児童数	学級数	学校数		普通	理科	音楽	図工	家庭
一 小	880	23	1	38.2	24	1	1	1	1
二 小	510	15	1	35.1	6	1	1	1	1
三 小	565 (24)	16 (2)	1	37.1	18 (2)	1	1	1	1
四 小	600	18	1	36.0	15	1	1	1	1
五 小	1,415	36	1	40.7	27	1	1	1	1
六 小	924	25	1	37.6	16	1	1	1	1
潤 小	1,116 (30)	28 (2)	1	37.9	20	1	1	1	1
平 小	672	18	1	36.5	17	1	1	1	
計	6,684 (54)	179 (4)	1	37.8	143 (2)	8	8	8	7

() は特殊学校

中学校設置状況

地区	学級数	学校別規模			一学級当り生徒数	一校当り教室				
		生徒数	学級数	学校数		普通	理科	音楽	美術	家庭
一 中	18 (2)	758 (19)	19 (2)	1	40.0	19 (2)	1	1	1	2
二 中	27	1,126	27	1	41.9	27	2	2		2
七生中	13	524 (45)	13 (3)	1	40.2	13	1	1	1	2
計		2,408 (64)	59 (5)	3	40.9	59	4	4	2	6

幼稚園設置状況

	公立在園者	園数	学級数	1学級当り幼稚園児	教諭	
					園長	教諭
一 幼	258	1	7	34	1	8
二 幼	123	1	3	41	(校長兼任) 1	4
三 幼	140	1	4	36	(校長兼任) 1	5
計	521	3	14	111	3	17

明細 (昭和43年度)

計	一校当り職員数			一校当り校舎面積	屋内運動場		一校当り外場屋運動場	プール数
	給食従事者	用務員	事務補助員		個所	一校当り面積		
28	6	2		4,612	-	-	13,067	1
10	4	2	1	2,529	-	-	5,503	1
22 (2)	4	2	1	3,869	-	-	8,880	1
19	4	2	1	2,973	-	-	7,280	1
31	8	2	1	4,392	1	766	3,911	1
20	5	2	1	4,324	-	-	8,610	1
24	6	2	1	3,324	-	-	11,626	1
20	4	2	1	3,431	1	545	7,226	1
174 (2)	41	16	7	28,512	2	1,311	66,103	8

明細 (昭和43年度)

職業	数	一校当り職員数			一校当り校舎面積	屋内運動場		一校当り外場屋運動場	プール数
		給食従事者	用務員	事務補助員		個所	一校当り面積		
1	25 (2)		2	2	4,381	1	842	12,207	1
2	35		2	2	5,497	1	1,079	13,482	1
2	20		2	2	3,173	1	765	13,415	1
5	80		6	6	13,051	3	2,686	39,104	3

明細 (昭和43年度)

員数			園舎面積	運動場面積
産休・休職代替教諭	用務員兼事務補助員	計		
	2	11	773	2,827
	1	6	466	2,030
	1	7	559	2,304
	4	24	1,798	7,161

学校予算配分表(1)

区分 学校名	学級数	児童 生徒数	消耗品費					社会 増分	計	参考 (42年度)
			均等割	児童割 620円	学級割 4,200円	事務費	事務用			
一 小	24	880	126円	546円	101円	60円	6円	839円	830円	
二 小	15	510	126	316	63	60	6	571	527	
三 小	16	589	126	365	67	60	6	624	563	
四 小	18	600	126	372	76	60	6	640	582	
五 小	36	1,415	126	877	151	60	6	1,220	1,116	
六 小	25	924	126	573	105	60	6	870	755	
潤徳小	28	1,146	126	711	118	60	6	1,021	794	
平山小	18	674	126	419	76	60	6	687	560	
計	180	6,738	1,008	4,179	757	480	48	6,585	5,759	
			840円 7,400円							
一 中	19	777	241円	653円	141円	80円	6円	1,121円	1,110円	
二 中	27	1,126	241	946	200	80	6	1,473	1,348	
七生中	13	569	241	478	96	80	6	901	772	
計	59	2,472	723	2,077	437	240	18	3,511	3,241	
			250円 4,000円							
一 幼	7	258	66円	70円	28円			164円	164円	
二 幼	3	123	66	30	12			108	108	
三 幼	4	140	66	40	16			122	122	
計	14	521	198	140	56			394	394	

学校予算配分表(2)

区分 学校名	学級数	児童 生徒数	食糧費				計	参考 (42年度)
			学校当り	学級当り	400円	児童生徒当り		
一 小	24	880	40円	9円	3円	52円	51円	
二 小	15	510	40	6	3	49	47	
三 小	16	589	40	6	3	49	48	
四 小	18	600	40	6	3	49	48	
五 小	36	1,415	40	14	3	57	54	
六 小	25	924	40	10	3	53	50	
潤徳小	28	1,146	40	11	3	54	51	
平山小	18	674	40	7	3	50	48	
計	180	6,738	320	69	24	32・445	397	
一 中	19	777	40	8	5	53	52	
二 中	27	1,126	40	10	5	55	53	
七生中	13	569	40	5	5	50	48	
計	59	2,472	120	23	15	158	153	
一 幼	7	258	8	3	0	11	17	
二 幼	3	123	8	1	0	9	16	
三 幼	4	140	8	2	0	10	16	
計	14	521	24	6	0	30	49	

(注) ① 特殊学級

学校予算配分表(3)

区分 学校名	学級数	児童 生徒数	印刷製本費			計	参考 (42年度)	
			学校当り	学級当り	2,300円 児童生徒42円			
一 小	24	880	30円	55円	37円	5円	127円	120円
二 小	15	510	30	35	21	5	91	81
三 小	16	589	30	37	25	5	97	87
四 小	18	600	30	41	25	5	101	86
五 小	36	1,415	30	83	59	5	177	159
六 小	25	924	30	58	39	5	132	112
潤徳小	28	1,146	30	64	48	5	147	116
平山小	18	674	30	41	28	5	104	85
計	180	6,738	240	414	282	40 ① 14	990	905
			4,600円		136円			
一 中	19	777	48円	86円	106円	5円	245円	240円
二 中	27	1,126	48	124	153	5	330	296
七生中	13	569	48	59	77	5	189	160
計	59	2,472	144	269	336	15 ① 15	779	704
一 幼	7	258	10	3	0	0	13	50
二 幼	3	123	10	1	0	0	11	38
三 幼	4	140	10	2	0	0	12	39
計	14	521	30	6	0	0	36	127

学校予算配分表(4)

区分 学校名	ストーブ保有状況			原材料費		計	参考 (42年度)
	43年度	補充分 1/3	新規分	家庭砂場用砂 m ² 2,200円	加工用 材料費		
一 小	0ヶ	0円		60円	50円	110円	90円
二 小	10	8		20	50	78	110
三 小	0	0		60	50	110	106
四 小	6	5	7	60	50	122	96
五 小	52	39		60	50	149	136
六 小	2	5		60	50	115	99
潤徳小	10	8	11	60	50	129	98
平山小	2	0		60	50	110	90
計	82	65	18	440	400	983 ① 40	825
一 中	8	6		60	60	126	108
二 中	21	17	5	60	60	142	150
七生中	25	19		60	60	139	125
計	54	42	5	180	180	407	383
一 幼	9	7	1	12		20	39
二 幼	5	4		12		16	35
三 幼	6	4		12		16	36
計	20	15	1	36		52	110

(注) ① 特殊学級

学校予算配分表(5)

区分 学校名	修繕料						計	参考 (42年度)
	一般備品 修繕費	教材備品 修繕費	ガラス 修繕費	校舎器具 修繕費	図書 修繕費	屋上金 網塗装費		
一 小	千円 30	千円 60	千円 40	千円 30	千円 22	千円	千円 182	千円 232
二 小	30	60	60	30	20		200	300
三 小	30	60	40	30	9		169	289
四 小	30	60	50	40	7		187	217
五 小	30	60	40	50	8		188	218
六 小	30	60	40	30	4		164	214
潤徳小	30	60	60	50	14		214	224
平山小	30	60	40	30	14		174	224
計	240	480	370	290	98	650	2,128	2,078
一 中	40	60	40	30	15		185	235
二 中	40	60	40	30	15		185	235
七生中	40	60	60	80	15		255	325
計	120	180	140	140	45	200	825	795
一 幼	10	30	10	10	0	0	60	70
二 幼	10	15	5	5	0	0	35	50
三 幼	10	15	5	5	0	0	35	50
計	30	60	20	20	0	36	166	170

学校予算配分表(6)

区分 学校名	学級数	ストーブ数	暖房用燃料		たきつけ用	職員室用	計	参考 (42年度)
			使用料	金額				
一 小	24	0	23,000ℓ	千円 190	千円 3	千円 30	千円 223	千円 220
二 小	15	10	5t	千円 予備(132) 61	15	30	(132) 106	269
三 小	16	0	16,000ℓ	128	3	30	161	219
四 小	18	6	16,000ℓ 3t	165	11	30	206	196
五 小	36	52	26t	320	96	30	446	542
六 小	25	2	32,600ℓ 1t	286	6	30	322	314
潤徳小	28	10	16,000ℓ 5t	189	15	30	234	271
平山小	18	2	16,000ℓ 1t	153	6	30	189	170
計	180	82	119,600ℓ 41t	(132) 1,492	155	240	2,019	2,201
一 中	19	8	22,000ℓ 5.6t	千円 176 69	10千円	102千円	千円 357	千円 346
二 中	27	13	22,000ℓ 9.1t	千円 176 111	16	102	405	517
七生中	13	26	18.2t	2223	32	102	357	402
計	59	47	44,000ℓ 32.9t	755	58	306	1,119	1,202
一 幼	7	9	4.5t	千円 55	11千円	8千円	千円 74	千円 83
二 幼	3	5	2.5t	31	6	8	45	56
三 幼	4	6	3t	37	8	8	53	63
計	14	20	10t	123	25	24	172	202

学校予算配分表(7)

備品費										
区分 学校名	学級数	児童 生徒数	均等割	2,000円 学級	530円 児童生徒	事務用	図書 購入費	指定校 社会費	計	参考 (42年度)
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一 小	24	880	110	48	466	30	50		704	682
二 小	15	510	110	30	270	30	50		490	445
三 小	16	589	110	32	312	30	50		534	471
四 小	18	600	110	36	318	30	50		544	490
五 小	36	1,415	110	72	750	30	50		1,012	984
六 小	25	924	110	50	490	30	50		730	622
潤徳小	28	1,146	110	56	547	30	50		793	651
平山小	18	674	110	36	357	30	50		583	471
計	180	6,738	880	360	3,510	240	400	649	6,039	5,055
				2,300円	1,150円					
一 中	19	777	180	44	894	30	50		1,198	1,061
二 中	27	1,126	180	62	1,295	30	50		1,617	1,357
七生中	13	569	180	30	654	30	50		944	725
計	59	2,472	540	136	2,843	90	150	35	3,794	3,249
				2,000円	250円					
一 幼	7	258	50	15	65	20			150	266
二 幼	3	123	50	6	31	20			107	190
三 幼	4	140	50	8	35	20			113	206
計	14	521	150	29	131	60			370	662

学校予算配分表(8)

学校営繕工事表				工事請負費	
学校名	工 事 名	見積額	備 考		
一 小	玄関前舗装、通用門設置	438			
二 小	校庭整地	50			
三 小	植木・花だん等整備工事	317			
四 小	正門・通用門・屋上補修工事	998			
五 小	焼却炉・塀土留工事	150			
六 小	通用門・校地整地工事	320			
潤 徳 小	焼却炉・校庭整地工事	450			
平 山 小	焼却炉・校庭整地工事	415			
計		3,138			
一 中	物置新設・木工収ちん室工事	440			
二 中	物置新設・校庭用便所・旧校舍改修・焼却炉	915			
七 生 中	焼却炉・水道蛇口増設・校庭整地工事	370			
計		1,725			

特別職等の報酬一覧表

職 名	単 位	金 額
1. 監査委員	学識経験者の中から選出された委員	月 額 10,000円
	議会の議員の中から選出された委員	" 7,000円
2. 教育委員会の委員	委員長	" 18,000円
(教育長の職にある者を除く。)	委員	" 15,000円
3. 選挙管理委員会の委員	委員長	" 8,000円
	委員	" 6,000円
	補充員	日 額 1,200円
4. 産業委員会の委員	会 長	月 額 12,000円
	副会長	" 9,000円
	委 員	" 7,000円
5. 国民健康保健運営協議会の委員	日 額	1,500円
6. 固定資産評価審査委員会の委員	"	1,500円
7. 駐留軍関係離職者等対策協議会の委員	"	1,200円
8. 投票(開票)管理者	"	1,500円
9. 選 挙 長	"	1,500円
10. 投票(開票)立会人	"	1,200円
11. 社会教育委員	"	1,500円
12. 民生委員推薦会委員	"	1,200円
13. 社会福祉委員	"	1,200円
14. 青少年問題協議会委員	"	1,200円
15. 文化庁専門委員	"	1,200円
16. 体育指導委員	"	1,200円
17. 消 防 委 員	"	1,200円

職 名	単 位	金 額
18. 学 校 医	内 科	月 額 5,000円
	歯 科	" 5,000円
	専 門 医	" 5,000円
19. 学校薬剤師	"	2,500円
20. 図書館協議会委員	日 額	1,200円
21. 農業共済事業運営協議会の委員	"	1,200円
22. 農業共済事業損害評価会の委員	"	1,200円
23. 公民館運営審議会委員	"	1,200円
24. 特別職報酬審議会委員	"	1,500円
25. 小口事業貸付審査会委員	"	1,200円
26. 土地区画整理審議会委員	"	1,200円
27. 土地区画整理審議会評価委員	"	1,000円
28. 社会福祉法人助成審議会委員	"	1,200円
29. 市立病院運営委員会委員	"	1,200円
30. 交通安全対策協議会委員	"	1,200円
31. 青少年委員	"	1,200円
32. 基本的総合計画審議会委員 町名地番整理審議会委員	"	1,200円
33. 市 長	月 額	150,000円
34. 助 役	"	120,000円
35. 収 入 役	"	110,000円
36. 固定資産評価員	"	100,000円
37. 議 長	"	60,000円
38. 副 議 長	"	52,000円
39. 議 員	"	45,000円

各諸手当の一覧表

手当の種類	支給を受ける者の範囲	手当の額
伝染病処理手当	従事した職員	1件につき 200円
行路病人及び死亡人取扱手 当	"	" 病人 200円 死体 500円
公金取扱手当	公金取扱いに専ら従事する職員	月額 500円
自動車運転手当	常時自動車運転作業に従事する職員	" 1,000円
下水道作業手当	専ら現業に従事する職員	日額 100円
	管理的業務に従事する職員	月額 1,000円
し尿処理作業及び 処理場管理手当	専ら現業に従事する職員	日額 300円
	管理的業務に従事する職員	月額 1,000円
じん芥処理作業手当	専ら現業に従事する職員	日額 250円
	専ら自動車運転作業に従事する職員	日額 200円
	管理的業務に従事する職員	日額 1,000円
税務手当	専ら市税の賦課徴収及び滞納整理に直接従事する職員	本給の100分の5
	その他の税務職員	本給の100分の3
税務調査手当	一日四時間以上市内に出張し市税の徴収、市税の申告調査、市税の減免調査及び固定資産の現況調査に従事する職員	日額 60円
滞納整理手当	出張して市税の滞納整理(滞納繰越分)に従事する職員	現金徴収額の 1000分の5
	出張して市税の滞納整理(督促状の指定期限後)に従事する職員	1件につき 5円
使用料及び手数料徴収手当	出張して使用料及び手数料の徴収に従事する職員	" 1円
保育所主任手当及 び保母手当	主任	月額 2,000円
	保母	" 1,000円
福祉事務所の現業に従事する職員の特殊手当	福祉事務所の現業に従事する職員	" 2,000円
保健指導手当	保健指導のため家庭訪問に従事する職員	" 1,000円
毒物作業指導手当	水陸稲病虫害防除指導のため出務する職員	日額 200円
特殊技術手当	市長が必要と認める特殊技術作業に従事する職員	月額 1,000円
手術手当	手術の際執刀した医師及び介助した職員	医師(手術基本料の) 100分の10以内 職員(") 100分の6以内

手当の種類	支給を受ける者の範囲	手当の額
分娩作業手当	分娩に従事した医師及び助産婦	1件 200円 異状分娩の場合は100円を 増徴
危険手当	伝染病患者に接触した医師及び看護婦	医師日額 100円 看護婦日額 50円
	レントゲン透視診断に従事する医師、看護婦及びレントゲン装置の操作に従事する技師	医師1件 250円 看護婦1件 100円 技師月額 2,000円
	伝染病感染の危険ある検査に従事する技師及びその他の職員	技師月額 2,000円 その他の職員日額 50円
麻薬管理手当	麻薬管理法により管理する職員	月額 500円
死体処理手当	従事した職員	1件 300円
研究手当	常勤の医師	月額 6,000円
医師手当	医師	月額 院長 20,000円 副院長 17,000円 医長 14,000円 医員 10,000円
往診手当	患者を往診した医師	往診料の100分の100
病院主任手当	主任技師、主任看護婦	月額 2,000円
特殊診療手当	市長が定める特殊診療に従事した医師	診療料の100分の10
住宅手当	多摩平全域内に居住する医師	家賃の半額 (最高月額10,000円)
そ族昆虫駆除指導手当	そ族昆虫駆除に従事した職員	日額 60円
美化作業手当	専ら現業に従事する職員	" 200円
土木作業手当	専ら現業に従事する職員	月額 1,000円
公益質屋職員手当	公益質屋の業務に従事する職員	" 2,000円

市有建物の火災保険加入状況

(参考表)

区分	共済目的の名称	所在地	延面積	分担金
行	市庁舎建物	日野市日野2,900	2,189.70 ^m	74,165
	第二庁舎	日野2,808	560.58	11,474
	七生支所	高幡68~1	275.40	10,510
	多摩平支所	多摩平4~3	368.38	4,170
	豊田出張所	豊田1,049~1	115.50	4,520
	日野台出張所	日野7,721	111.54	4,362
政	衛生処理場	新井東養塚	237.44	13,784
	共同作業所	下田200	424.69	8,410
	火葬場	多摩平3~28	93.97	5,173
	市立集会場	日野2,800	889.38	10,010
	福祉センター	日野2,614	1,207.25	13,686
	福祉会館	高幡696~1	165.25	6,306
	高幡保育園	高幡705	497.45	18,987
	豊田保育園	豊田1,071	463.57	17,690
	平山保育園	平山626~2	229.25	2,595
	多摩平保育園	多摩平4~3	445.52	14,373
	向川原集会場	川辺堀の内860	61.87	2,394
	川原付集会場	宮399~5	340.4	798
	東光寺市営住宅	日野3,951	2,160.00	15,422
	下田市営住宅	下田197	528.97	3,318
	城址ヶ丘市営住宅	平山1,171~1	694.00	19,980
	産	川原付市営住宅	宮399~5	1,735.00
高幡市営住宅		高幡564~1	700.04	12,230
向川原市営住宅		川辺堀の内860	5,484.61	106,374
市立上田自治会館		上田474~1	80.99	3,150
市立大和田自治会館		平山2,124	793.3	3,102
市立万願荘		日野844~7	80.99	3,150
市立下町・下川原		日野579	793.3	3,102
市立谷仲山		日野3,067	793.3	3,102
公益質屋		日野2,510	50.17	10,587
旧平山小学校				16,427
下水道事業所				6,794

区分	共済目的の名称	所在地	延面積	分担金
普通財産	旧豊田駐在所	日野市豊田1,090	67.65 ^m	2,630
	旧直営診療所	南平1,340	494.21	19,435
	旧医師住宅	南平1,340	59.50	1,697
	職員住宅	南平1,340	52.89	1,501

教育財産

区分	共済目的の名称	所在地	延面積	分担金	
行政財産(小学校)	日野市立第一小学校	日野市日野2,800	4,714.44 ^m	56,249	
	第二 "	豊田218	2,654.67	85,009	
	第三 "	日野5,258	2,959.06	18,100	
	第四 "	石田430	2,446.21	43,033	
	第五 "	多摩平6~1	4,405.58	86,223	
	第六 "	多摩平3~21	3,954.81	71,419	
	平山 "	平山599	2,821.37	53,858	
	潤徳 "	高幡402	2,772.58	48,128	
	行政財産(中学校)	日野市立第一中学校	日野市日野2,614	4,374.81 ^m	72,563
		第二 "	多摩平4~2	6,136.49	89,678
七生 "		豊田1,944	3,329.78	111,318	
行政財産(幼稚園)	日野市立第一幼稚園	日野市多摩平4~3	793.63 ^m	27,224	
	第二 "	平山136	517.59	12,154	
	第三 "	日野2,800	611.95	14,364	
行政財産(林間施設)	大成荘	山梨県北巨摩郡高根町清里	883.93 ^m	56,400	
行政財産(公民館)	中央公民館	日野市日野2,614	1,840.25 ^m	20,865	
	新井地区センター			11,384	
	東光寺地区センター			3,740	
	多摩平地区センター			2,252	

